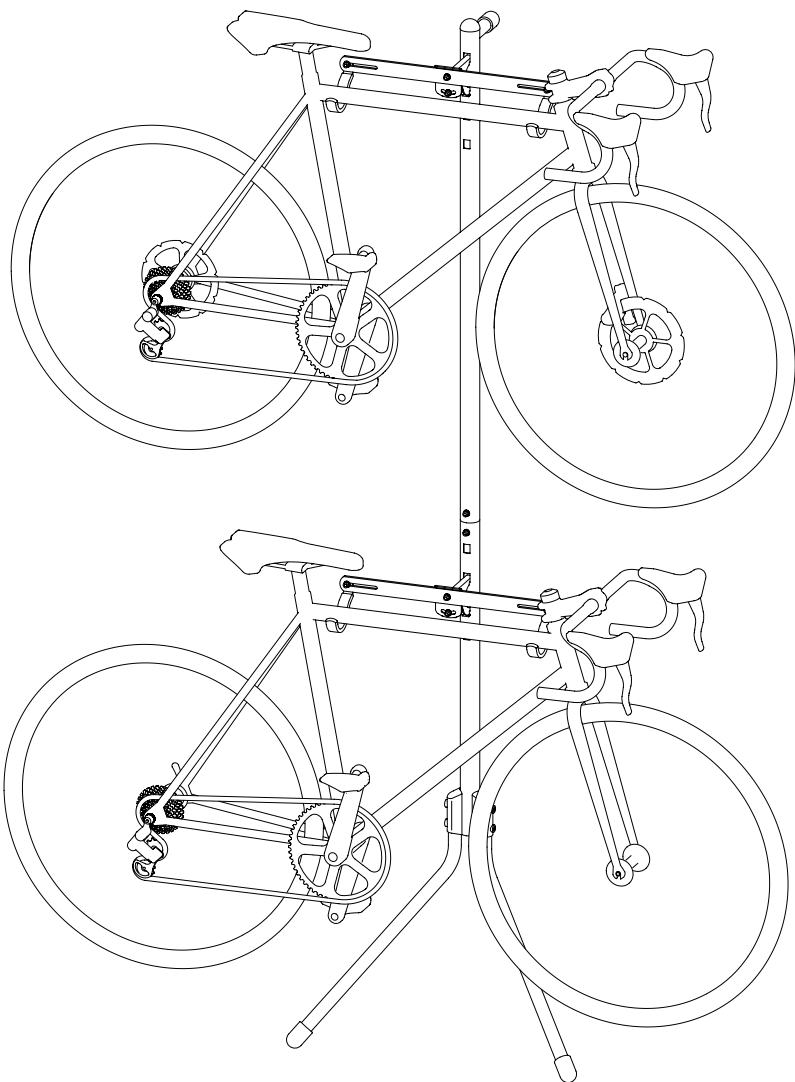




ご使用の前にこの説明書を最後まで読み正しくお使いください。



⚠ 注意していただきたいこと

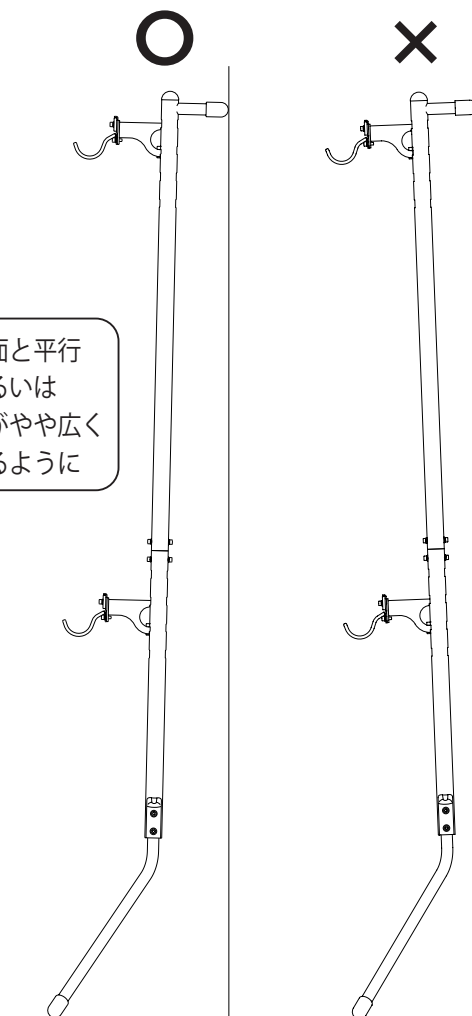
- 通常の2輪自転車専用です。バランスの取りにくいタンデム車や、リカンベント、ロングテール車ではお使いいただけません。また自転車は重量バランスを適正に保つため、1台だけ使用の場合は上段クレードルだけでなく、下段をメインで使ってください。
- 自転車を取り外した際に、荷重が抜けることで急激に軽くなるスタンドが不安定になり転倒してこないよう注意してください。
- 脚先ゴムキャップの抵抗で立っています。床面は土埃などが無いよう清掃し、滑りやすい床の上では使用しないでください。
- 各部の締め付けが緩んでいないか、適宜チェックしてください。
- ボルトは絶対に斜めにねじ込まないでください。最初は手で回していき、工具を使うのは抵抗なくスムーズにねじ込めることが確認できてからです。ねじ山の破損はお客様負担の補修となります。
- 白色フレームの場合、条件によってはフックによるフレームへの色移りが起き得ます。フックとの間に布片などを挟めば防げます。

グラビティスタンドの特徴

- わずか1台分のスペースに、自転車を上下2段にして収納できる省スペース型です。
- 設置は壁に立て掛けるだけと、とても簡単。面倒な調整などはいっさいありません。
- 上下あわせて40kgまでの荷重を受け止められます。
- 自転車を受けるクレードルは、工具なしでそれぞれ上下3段階に高さを変えられます。
- フックは自転車を掛けやすいロープロファイルタイプ。フレームを傷つけない樹脂パッド仕上。
- クレードルは、搭載する自転車に合わせて角度とフック幅調整が可能。

⚠ 安全な設置角度について

壁面と平行
あるいは
下がやや広くなるように



お問い合わせ先

日本製

株式会社 箕浦 〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

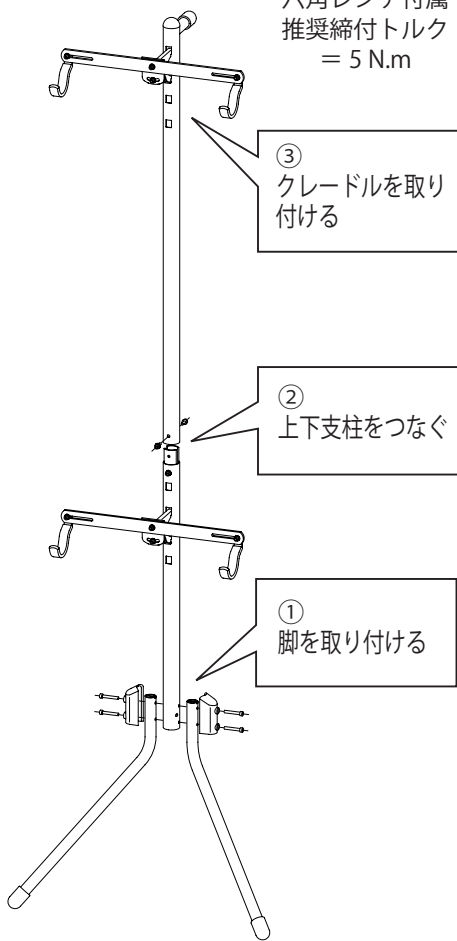
Phone: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505

Email: minoura@minoura.jp (営業) / infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)

Web: www.minoura.jp

組み立て方

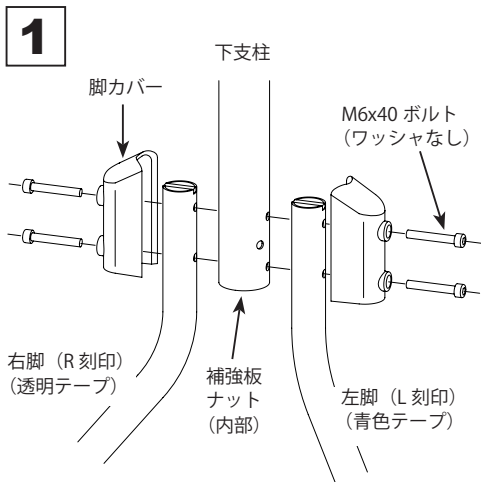
六角レンチ付属
推奨締付トルク
= 5 N.m



③
クレードルを取り
付ける

②
上下支柱をつなぐ

①
脚を取り付ける



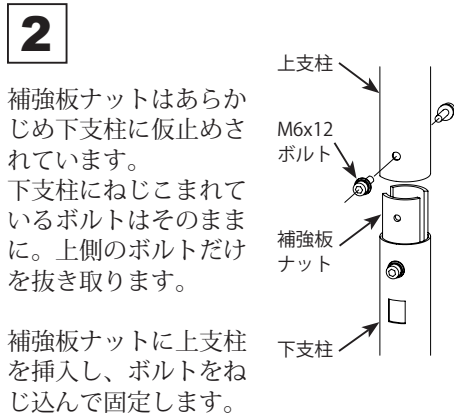
下支柱の下端内側には、補強板ナットが溶接されています。

脚カバーに通した M6x40 ボルトを脚の孔を通して、この補強板ナットにねじ込みます。

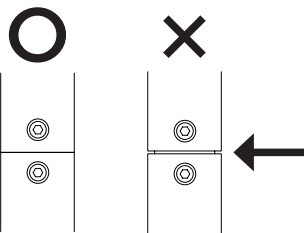
左右の脚はそれぞれ、パイプ脚上部の刻印と袋を止めているテープの色とでその方向を見分けられます。

⚠ 脚取付用の補強板ナットは支柱に溶接で取り付けられており、交換は不可能です。もしこのねじ山を壊してしまうと下支柱ごと交換しなければならなくなります。

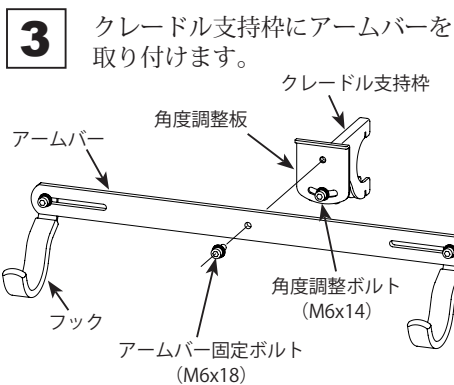
⚠ ボルトはねじ孔に対して必ずまっすぐに、傾きなくねじ込むようにください。見下ろしながら作業するよりも、頭を下げて顔の正面でねじ込む方がわかりやすいです。



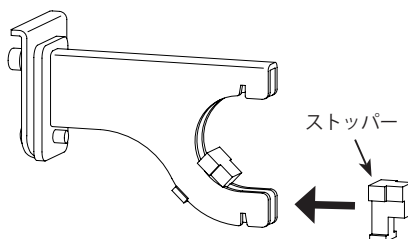
⚠ 上下支柱はぴったりと密着させてください。隙間があると、自転車を載せた荷重で支柱が折れ曲がってしまいます。



⚠ ボルトには斜めにねじ込めしてしまう特性がありますが、そのまま無理に工具でねじ込まないでください。ねじ山が破損してしまいます。

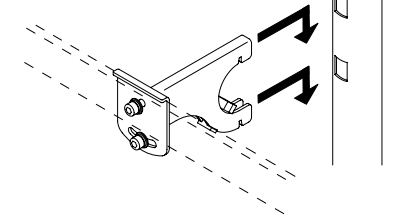


クレードル支持棒下側アームの隙間に、ストッパーを向きに注意して挿入します。細い方が支柱側になります。

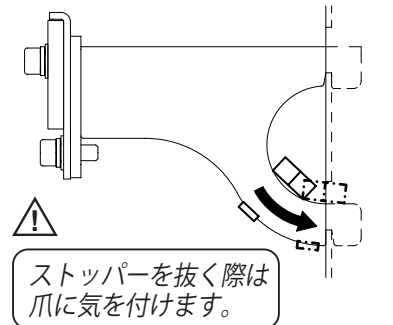


支柱の孔に支持棒の2つのフックを通し、下に引き下げて引っかけます。

クレードル支持棒は上下3段階の高さを選べます。

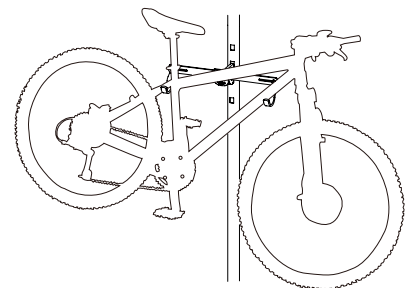


クレードル支持棒はそのままですぐに抜けてしまうので、固定用にストッパーを孔の上側の隙間に差し込んで保持させます。

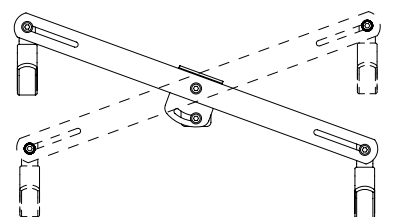


グラビティスタンドを壁に立て掛ければ使用準備は完了です。クレードルのフックに自転車のトップチューブを掛けて吊り下げます。

フックはアームバーに仮止めされているだけです。自転車フレームのサイズや形状によってフックの角度や位置(幅)を適切に変え、ボルトを締めて固定します。



スローピングのきついフレームでは、トップチューブではなく、フレームパイプの交点やダウンチューブを使って掛けることもあります。



角度調整ボルトを緩めるとクレードルは全体に +/-30度の範囲内で角度を変えられます。装着する自転車に合わせて適切に調整してお使いください。